

【予算編成の考え方】

◆感染症対策と持続可能な回復を図る

新型コロナウイルス感染症の影響に加え、物価高騰等の影響などを踏まえると、景気の先行きを見通すことが困難な状況が続いている。こうした中、感染症や原油価格・物価高騰等から区民の健康と暮らしを守るとともに、区民生活や地域経済の復興へ向け、コロナ禍を契機によりよい未来を目指す、持続可能な回復を図るための予算を優先して編成した。

◆総合戦略の着実な実施

「文の京」総合戦略に掲げる主要課題の解決に向けた戦略的な施策の展開

◆重点施策は、54事業、約111億円

◆一般会計の予算規模は、1,162億800万円

(前年度比3.4%増(38億3,900万円増)／当初予算としては過去最大)

◆基金の活用

歳入不足補填のため、財政調整基金を約53億円取り崩す。また、区有施設の老朽化等に伴う大規模な施設整備等に対応するため、特定目的基金を約60億円取り崩す。

【一般会計 予算規模】

【単位：百万円／％】

歳入	5年度	4年度	増減率
一般財源	76,086	70,427	8.0
特別区税	38,572	35,990	7.2
配当割交付金	600	570	5.3
株式等譲渡所得割交付金	680	660	3.0
地方消費税交付金	6,700	5,600	19.6
特別区交付金	22,800	21,400	6.5
財政調整基金繰入金	5,265	4,858	8.4
その他収入	1,470	1,350	8.9
特定財源	40,122	41,942	△4.3
国庫支出金	16,312	15,967	2.2
都支出金	8,752	8,877	△1.4
特別区債	3,000	2,500	20.0
特定目的基金繰入金	6,014	8,622	△30.2
その他収入	6,044	5,975	1.1
計	116,208	112,369	3.4

歳出	5年度	4年度	増減率
義務的経費	48,340	48,248	0.2
人件費	22,897	22,662	1.0
職員給与費	15,506	14,980	3.5
退職手当	288	801	△64.1
その他	7,103	6,881	3.2
扶助費	25,002	25,191	△0.8
公債費	441	395	11.8
投資的経費	15,481	17,719	△12.6
その他	52,387	46,402	12.9
計	116,208	112,369	3.4

【令和5年度予算で取り組む主要事業等】

子どもたちに輝く未来をつなぐ

「Society5.0の教室」プロジェクト

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図るために、ICT支援員による支援を拡大し、「ハイブリッド授業」を充実・発展させるとともに、学習者用デジタル教科書及び各種アプリケーションソフトを活用した授業・家庭学習を推進する。また、情報モラル教育を推進し、児童・生徒が情報社会で適正な活動を行うため、インターネットを適切に活用できる力を育成する。【P.3】

学びの居場所架け橋計画

不登校児童・生徒が増加する中、学級に馴染めないと感じている児童・生徒に学校内の居場所に対応するための指導員を小中学校4校に配置するとともに、新たにNPOと連携し、こうした児童・生徒を対象にオンラインシステムを活用した支援を進める。【P.4】

- ・子どもの保育環境向上事業【P.1】
- ・英語力向上推進事業【P.2】

活力と魅力あふれるまちの創造

現下の経済変動に対応するための中小企業支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響に加え、現下の複合的な要因による経済変動により影響を受けている区内中小企業を支援するため、設備投資や経営相談に係る経費を補助するとともに、消費者還元サービスに取り組む区内商店に対して、サービスに係る費用、原材料等の購入費等の補助を行う。【P.11】

「文の京」リカレント教育普及促進事業

個人の職業能力向上に資するリカレント教育を更に推進していくために、リカレント教育への支援を非正規雇用者及び個人事業主まで拡充するとともに、普及啓発セミナーを実施する。【P.13】

第20回全国藩校サミット文京大会・記念事業

全国の藩校・藩主関係者が集まる「藩校サミット」を開催し、区民が江戸時代の教育や文化に触れる機会を創出するとともに、本区の魅力を発信するための各種関連イベントを実施する。【P.16～18】

- ・中小企業の知的財産戦略支援事業【P.12】
- ・文京ソコチカラ商人力(あきんどりょく)向上プロジェクト【P.14】
- ・文の京伝統工芸プロデュース事業【P.15】
- ・未来への祭(さい)スタート!「まつりの街、文京」プロジェクト【P.19】

環境の保全と快適で安全なまちづくり

文京区脱炭素プラットフォーム事業

脱炭素の取組に対する意識を醸成するため、二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを共通の目標とした、区内の大規模事業所等によるプラットフォームを立ち上げる。【P.26】

新エネルギー・省エネルギー設備設置費助成事業の拡充

地球温暖化対策地域推進計画に掲げた将来的なカーボンニュートラルの実現のため、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出削減に効果的な機器等の設置費用の一部を補助し、利用促進を図る。【P.27】

フードシェアリングサービスの提供

事業系食品ロスの削減のため、店舗と消費者のマッチングを図るフードシェアリングサービスを実施する。【P.28】

- ・「防災×共助」加速化プラン【P.24】
- ・ハート型ガードパイプの整備 ～隠れハートをさがせ!～【P.25】

文京区DX推進プロジェクト

デジタル技術の活用による行政サービスの向上や業務改善を進め、新たな行政サービスを創出するため、次の4つの取組を中心に様々な事業を実施する。【P.29】

- 1 行政手続きのオンライン化
- 2 業務改革(BPR)の取組
- 3 働き方の改革
- 4 DX人材の育成

・おくやみコーナーの開設とハンドブックの作成【P.32】

・保育所AI入所選考

・IoT高齢者みまもROOM事業

・ICTを活用した自殺対策事業【P.10】

・電子申請システム等の運用・拡充

・一時保育事業(キッズルーム)窓口でのキャッシュレス決済の導入

・民間ICT企業への職員派遣研修の実施

健康で安心な生活基盤の整備

がん患者アピアランスケアの拡充

がん患者の精神的苦痛及び経済的負担の軽減を図り、就労等の社会参加支援として、ウィッグ等購入費用の一部助成の対象を拡大し、胸部補整具等の購入費用を助成する。【P.6】

Withコロナ時代に向けた带状疱疹ワクチン予防接種費用助成制度の拡充

区民の健康を多角的に守るとともに、社会経済活動の安定化を多面的に支えていくことを目的として、带状疱疹ワクチン予防接種費用助成制度を拡充する。【P.7】

ヤングケアラー支援に向けた連携推進事業

ヤングケアラーのケア負担及び不安の軽減等を図るため、社会福祉協議会や地域の支援機関・団体を含めたネットワークを形成し、既存の地域資源を活用することで、支援体制を構築する。【P.9】

- ・ポジティブ・シニアをつなぐ応援プロジェクト(心・技・体)【P.5】
- ・「チームオレンジBunkyo」サポーターによる認知症に優しいまちづくり【P.8】

文化的で豊かな共生社会の実現

女性のほほえみ支援ネットワーク事業

DVや生活困窮等の困難な問題を抱える女性が、自立に向けて安心した生活が送れるよう、福祉、子育て、教育等の関係機関や民間団体等のネットワークを構築し、切れ目のない支援を行う。【P.22】

見て、聞いて、知る「世界の難民」

難民や人権問題等について区民等が考えるきっかけを提供し、理解促進を図るため、「難民の日」に合わせ、難民キャンプ展の展示や「世界難民の日こいのほり」の掲揚等、難民や難民支援に関する様々な取組を実施する。【P.23】

- ・町会・自治会における地域コミュニティ推進活性化支援補助事業【P.20】
- ・インクルーシブスポーツ推進事業【P.21】

物価高騰対応事業及び施設関係の大規模な取組等

物価高騰対応事業

食材価格の高騰による影響を踏まえ、福祉施設や保育所、学校等の利用者の経済的負担の増につながらないようにするため、各施設に対する食材費の補助事業を実施する。また、施設を運営する事業者の高騰する光熱費負担を軽減するため、光熱費等の補助事業を実施する。【P.37】

大塚地域活動センターの移転をはじめとする各種区民サービスの拡充

中央大学茗荷谷キャンパス内への大塚地域活動センター移転を契機として、当該地域活動センターの業務を拡大し、地域のコミュニティ形成の場としての機能を拡充するほか、図書館資料の取次業務等を行う。また、キャンパス敷地内において、キッズルーム、育成室、私立認可保育所、自転車駐車を併せて整備し、大塚地区における区民サービスの拡充を図る。【P.31】

- ・誠之小学校改築
- ・明化小学校等改築
- ・柳町小学校等改築
- ・小日向台町小学校等改築
- ・学校施設等の快適性向上
- ・小学校の教室増設対策
- ・旧区立特別養護老人ホームの大規模改修
- ・公園再整備事業【P.33】

- ・自転車通行空間整備【P.34】
- ・屋内喫煙所設置費等助成事業の拡充【P.35】
- ・平和祈念事業【P.36】